

記者発表資料

神奈川県内の交通事故削減を図るため、 皆様のご意見をお聞かせ下さい。

横浜国道事務所と神奈川県内の各自治体では、交通事故対策について、地域の皆さまや、様々な分野の方々からのご意見をお伺いし、道路施策に反映することを目的に、平成17年12月に「神奈川県安全性向上委員会」を設置しているところです。

去る平成22年10月29日に、第6回目となる「神奈川県安全性向上委員会」を開催し、事故対策実施箇所のフォローアップ結果や『新たな交通安全課題箇所の抽出方法』及び『アンケート調査方法と調査票』などについてご意見をいただきました。

この度、神奈川県安全性向上委員会では、委員会において了承された案で、県民の皆さまにアンケートを実施します。

アンケート調査概要

- 「神奈川県安全性向上委員会」では、神奈川県内の交通事故を減少させるため、優先的に対策を実施する場所を選定します。
- 実施する場所は、“事故件数”“地域の声”を勘案して選定する予定です。
- 日頃、道路を利用されている皆さまが感じている、優先的に減らしてほしい“事故の種類”“事故の場所”について広くご意見をいただき、対策を実施する場所の選定における参考資料として活用させていただきます。
- なお、対策を実施する場所は、自動車交通量が多い国道や主要な県道などから選定する予定です。

ご意見募集方法：下記ホームページでアンケートを受け付けています。

横浜国道事務所：<http://www.ktr.mlit.go.jp/yokohama/>

又は、相武国道事務所：<http://www.ktr.mlit.go.jp/sobu/>

又は、川崎国道事務所：<http://www.ktr.mlit.go.jp/kawakoku/>

第7回目の会議は12月上旬頃に予定しており、アンケート調査結果にもとづく、『新たな交通安全課題箇所』を選定する予定です。

※横浜国道事務所では、神奈川県内の道路に関するアンケート「教えて下さい！神奈川県の渋滞」についても実施していますので、ご協力下さい。

詳しくはこちらまで <http://www.ktr.mlit.go.jp/yokohama/report/2010/20101109-01.pdf>

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 神奈川県政記者クラブ 相模原記者クラブ

問い合わせ先

神奈川県安全性向上委員会事務局

横浜国道事務所 電話 045-311-2981 (代)

計画課長 ひらいわ ようぞう 平岩 洋三 (内線261)

交通対策課長 なまざわ さだお 滝沢 貞男 (内線471)

『第6回神奈川県安全性向上委員会』

議事概要

■開催日時

平成22年10月29日（金）16:00～18:00

■開催場所

横浜国道事務所大会議室

■委員会名簿

横浜国立大学大学院工学研究院 准教授	岡村 敏之（委員長）
（社）神奈川県安全運転管理者連合会 常務理事	羽太 洋一郎
（財）横浜市交通安全協会 常務理事	河野 昭雄
（社）川崎市交通安全協会 専務理事	松浦 正寿
（社）神奈川県トラック協会 専務理事	大川 充磨
（社）神奈川県タクシー協会 専務理事	会田 辰三郎
（社）神奈川県バス協会 常務理事	山崎 利通
国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所長	和泉 晶裕
国土交通省 関東地方整備局 川崎国道事務所長	秋山 均
国土交通省 関東地方整備局 相武国道事務所長	吉田 秀範
神奈川県警察本部交通部交通規制課長	柳川 浩介
神奈川県安全防災局安全安心部 暮らし安全交通課長	怒田 伸行
神奈川県県土整備局道路部 道路管理課長	三浦 雅彦
横浜市道路局 道路部長	末廣 良和
川崎市建設緑政局道路河川整備部 担当部長	江澤 一夫
相模原市都市建設局 土木部長	古川 交末
東日本高速道路株式会社 関東支社 京浜管理事務所長	佐藤 隆二
中日本高速道路株式会社 東京支社 保全・サービス事業部	
道路管制センター 交通管制チームリーダー	沢本 直樹
首都高速道路株式会社 神奈川管理局	
調査・環境グループ 課長	鈴木 和夫

■議事

- (1) 委員会の目的とこれまでの経緯
- (2) 今年度の委員会目的とスケジュール
- (3) 事故対策実施箇所へのフォローアップ
- (4) 新たな交通安全課題箇所の抽出方法
- (5) アンケート調査方法と調査票

《会議での了承事項》

『新たな交通安全課題箇所の抽出方法』及び『アンケート調査方法と調査票』が了承されました。

■委員からの主な意見等

【(1) 事故対策箇所のフォローアップについて】

- ・ 事故率は減少傾向にある。事故件数が減少していない特定の事故類型もあるが、対策完了からの期間が短いため、今後も引き続きモニタリングが必要。

【(2) 新たな交通安全課題箇所の抽出方法について】

- ・ 神奈川県の特徴・事故特性から重要視する指標をアンケート調査を実施するが、最終的にアンケート結果に反映される方法を整理した方が良い。

【(3) アンケート調査方法と調査票について】

- ・ トラック協会、タクシー協会、バス協会には、一般向けのアンケートではなく、運転手の視点を入れたアンケートにしてほしい。



委員長のあいさつ



委員会の状況

神奈川県交通事故対策に関するアンケート

【アンケート調査の目的】

神奈川県内の交通事故を減少させるため、日頃、道路を利用されている皆さまの“事故に対する考え”を把握することを目的に実施するものです。

【アンケート調査の概要】

- 「神奈川県安全性向上委員会（委員長：横浜国立大学 岡村 敏之 准教授）」では、神奈川県内の交通事故を減少させるため、優先的に対策を実施する場所を選定する予定です。
- 実施する場所は、“事故件数”“地域の声”を勘案して選定する予定です。
- 日頃、道路を利用されている皆さまが感じている、優先的に減らしてほしい“事故の種類”“事故の場所”について、広くご意見をいただき、対策を実施する場所の選定における参考資料として活用させていただきます。
- なお、対策を実施する場所は、自動車交通量が多い国道や主要な県道などから選定する予定です。

実施主体：神奈川県安全性向上委員会

事務局（お問い合わせ先）：国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所 交通対策課

TEL：045-316-3541

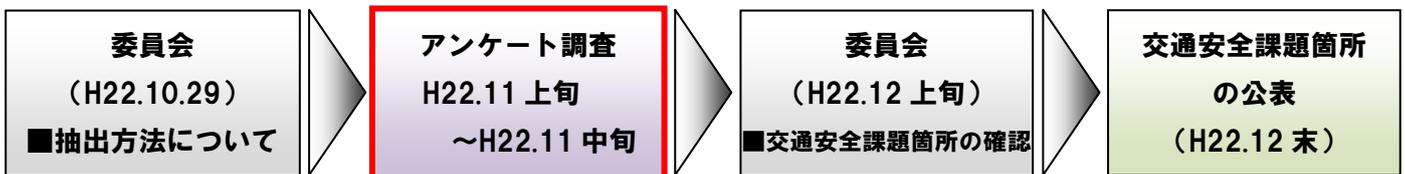
神奈川県安全性向上委員会の取り組み

【これまでの取り組み】

- 「神奈川県安全性向上委員会」は、交通事故対策について、様々な分野の方々から意見をお伺いし、「要対策箇所の選定」「事故対策の立案」「対策結果の確認」について、検討することを目的に平成17年12月に設置されました。これまでに5回開催され、対策箇所として15箇所を選定し、事故対策の立案と対策結果の確認を行いました。

【これからの取り組み】

- 「神奈川県安全性向上委員会」では、新たに優先的に対策を実施する場所（交通安全課題箇所）を選定し、平成22年12月末を目処に公表する予定です。



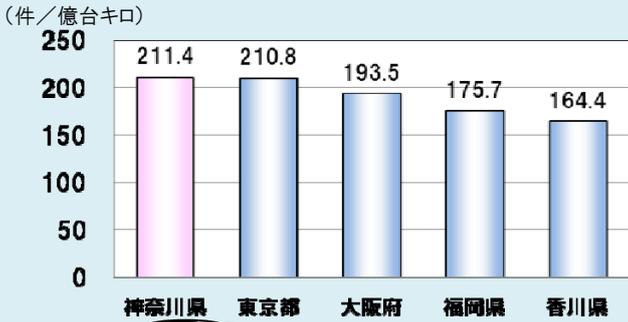
交通安全課題箇所の選定

- 「神奈川県安全性向上委員会」では、以下の地域特性、交通事故特性に配慮し、対策を実施する場所を検討しています。



神奈川県交通事故特性

都道府県別死傷事故率 (H18年度)



死傷事故率 **全国第1位**

※死傷事故率とは、1万台の車が1万キロ走行した場合に発生する事故件数を示しています。

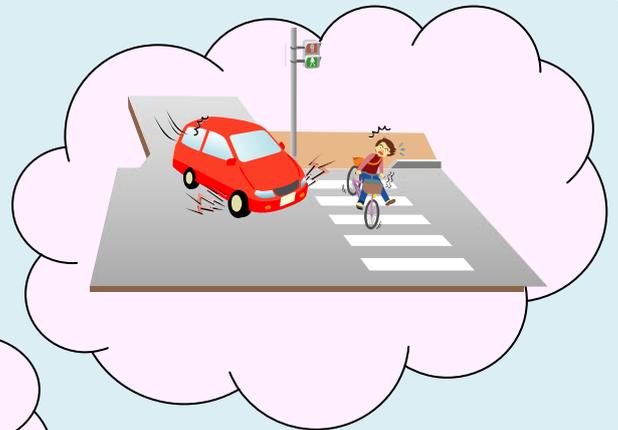
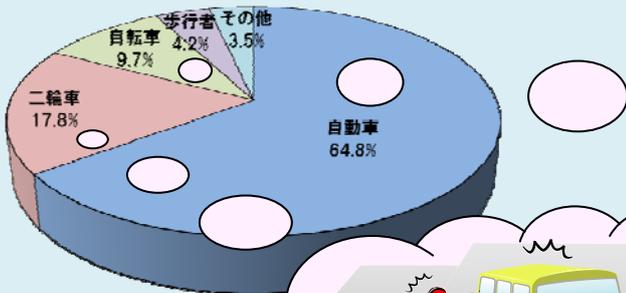
都道府県別死傷事故件数 (H16-H20年度平均)



死傷事故件数 **全国第4位**

死傷事故件数 (車両等の種類別)

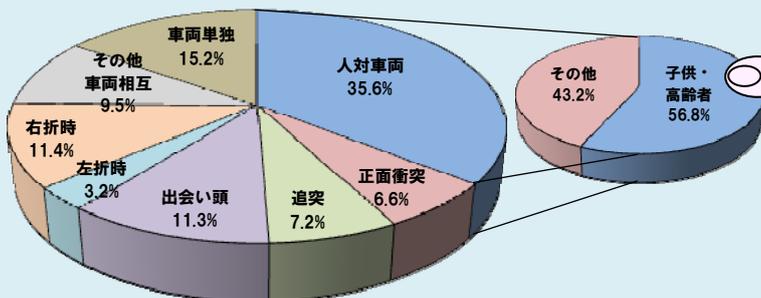
(H17-H20年度)



●自動車事故に次いで、「**二輪車**」「**自転車**」が関連する事故が多い

死亡事故件数 (事故の種類別)

(H17-H20年度)



●死亡につながる危険性の高い事故は「**人対車両**」事故

●「**歩行者・子供・高齢者が被害に遭う**」事故

神奈川県道路利用者アンケート票

本アンケートは、日頃道路を利用されている皆さまが感じている、優先的に減らしてほしい“事故の種類”“事故の場所”について、広くご意見をいただき、“優先的に対策が必要な場所”を選ぶための参考資料とするために実施するものです。

問1:どのような“事故の種類”を減らして欲しいと思いますか。

それぞれの種類について、該当する番号(1~4:重要度)を○で囲んで下さい。

1. 乗り物の種類

①車同士の事故



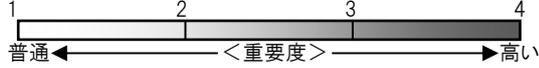
②二輪車が関連する事故



③自転車が関連する事故

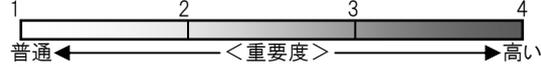


④歩行者が関連する事故



2. 被害に遭う方の種類

⑤子供が被害に遭う事故



⑥高齢者が被害に遭う事故



3. 事故の重大性

⑦亡くられる方が多い重大な事故



4. その他

⑧その他()

問2:問1について、特に減らしてほしいと思う“事故の種類”を1つ○で囲んで下さい。

1. ① 2. ② 3. ③ 4. ④ 5. ⑤ 6. ⑥ 7. ⑦ 8. ⑧

問3:どのような“場所で起きる事故”を減らして欲しいと思いますか。

それぞれの場所について、該当する番号(1~4:重要度)を○で囲んで下さい。

①自動車の交通量の多い道路



②歩行者の交通量の多い道路



③自転車の交通量の多い道路



④通学路として利用されている道路



⑤駅付近の道路



⑥住宅地付近の道路



⑦その他()

問4:問3について、特に減らしてほしいと思う“場所で起きる事故”を1つ○で囲んで下さい。

1. ① 2. ② 3. ③ 4. ④ 5. ⑤ 6. ⑥ 7. ⑦

問5:ヒヤリ・ハットした(交通事故になりそうになった)体験がございましたら、具体的な場所(路線名・交差点名・住所など)やヒヤリ・ハットした内容(危ないと思った内容)について、ご意見をお寄せ下さい。

■路線名 _____ ■住所 _____
■交差点名 _____ ■ヒヤリ・ハットした内容 _____

【回答される方、ご自身についてお答え下さい。】

問6:年齢 1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60代(64才以下) 7. 65才以上

問7:性別 1. 男性 2. 女性

問8:住所 市・区・町・村

問9:運転免許の取得状況(最も利用頻度が高い免許) 1. 自動車類 2. 二輪車(原動機付自転車を含む) 3. 未取得

問10:神奈川県内の道路を利用する主な手段 1. 徒歩 2. 自転車 3. 二輪車 4. 自動車 5. バス・タクシー

問11:神奈川県内の道路を利用する主な目的

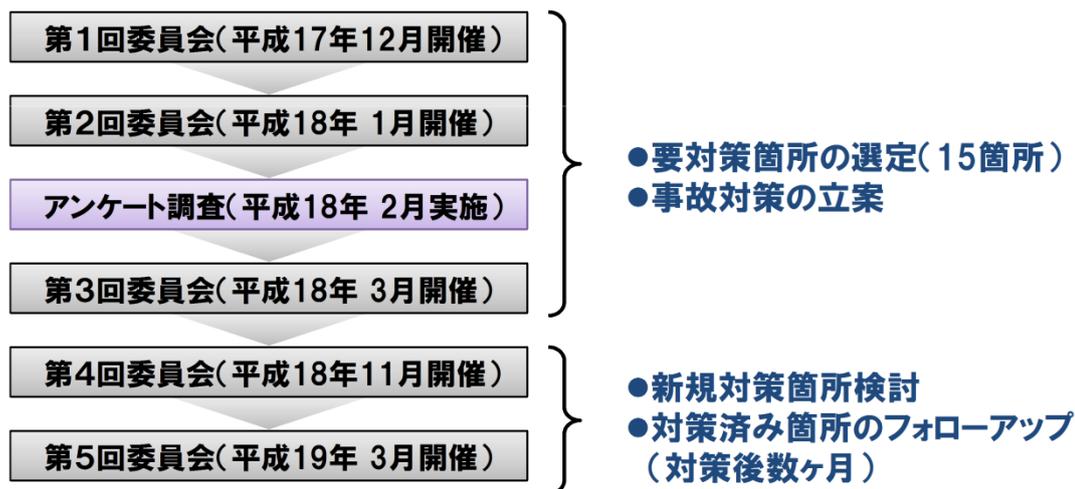
1. 通勤・通学 2. 業務(自家用車:白ナンバー) 3. 業務(事業用車:緑ナンバー)
4. 買い物 5. 私用 6. 観光・レジャー 7. その他()

本アンケートでお答え頂いた意見および個人情報、他の目的で使用したり、第三者に使用させたりすることは一切いたしません。

『第6回神奈川県安全性向上委員会』について

【これまでの取り組み】

『神奈川県安全性向上委員会』は、交通事故対策について、様々な分野の方々からの意見をお伺いし、「要事故対策箇所の選定」「事故対策の立案」「対策結果の確認（フォローアップ）」について検討することを目的に、平成17年12月に設置しているところです。



【これからの取り組み予定】

